

# 令和5年度事業報告書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

## 1 事業の成果

令和5年度は、ラクダが29年前の設立当時から取り組んできた都市交通の活性化が見えてきた1年だった。年末には2018年以来のバスの協議も方向性が見えてきた。路面電車駅前乗入れも着工し、吉備線LRT化と路面電車環状化も再起動の方向性になってきた。引き続き市議会・県議会への呼びかけ続けた。毎月の京橋朝市の出前公聴会、瓦版は順調に続けた。

次回瀬戸芸に向けて、犬島アクセスバス路線については続けたが、西大寺活性化協議会での取り組みとの連携には課題がある。一方赤穂線沿線の瀬戸内市、備前市への都市交通としての再構築の呼びかけは一定の効果を見せている。7月の自治体学校分科会では富山大学金山教授に基調講演いただき、瀬戸内市、堺の市民団体にも事例報告していただいた。吉備路の交通活性化に向けて、2度の楯築ルネッサンスフォーラムに主体的に関わり、吉備古墳図鑑の再版印刷配布も続けた。

令和5年度の活動の目玉は「クリーンモバイル岡山倉敷連星都市圏3」の発行である。フルカラー64pで、1995年の岡山商工会議所の「人と緑の都心1kmスクエア構想」を受けた第5弾という位置づけの政策集で、今回はコロナ以来毎週開催してきた、全国路面電車ネットワークZoom定例会議の大学教授、コンサル、事業者、市民団体などの都市交通専門家に執筆していただいた。「ライトレールで変える年の風景」、「日本に広がる電車バス無料デー、世界に広がる無料都市」、「電車バス大增便で人口を増やす術」といった刺激的なタイトルが並んだ日本最先端の研究成果を詰め込んだ内容で、1000部を印刷し、国交省・国会への重要なロビー活動ツールにもなった。

Zoom会議は毎回30人以上が参加、昨年は50回、コロナ後通算188回開催。全国路面電車ネットワークのプラットフォームとして機能し、特にJR北海道の余市・小樽間の廃止問題、千葉の快速廃止問題など各地の課題が積極的に議論され、マスコミに頻繁に登場するメンバーによって各方面に影響力を発揮しつつある。いわばラクダのローカルシンクタンク機能とネットワークシンクタンク機能を体現したものといえる。国会での地域公共交通活性化再生法改正の政府参考人には、このZoom会議から3人が登場したのも実績としてあげられる。バスマップ部門の討議では、「バスマップガイドブック」の検討が始まった。こうした議論経過はホームページにも随時掲載し、アクセス数は過去最大となった。

8月26日には30年来我々が支援してきた宇都宮ライトレールが、様々な政治的抗争に巻き込まれながら開業し、開業式典にも招待され、全国の仲間と懇親会を開催した。ただ1月に宇都宮で開催される予定のLRT都市サミットに併せて開催する第16回全国路面電車サミットが、コロナにより地元市民団体がほぼ活動停止していて開催不可能だとわかり、急遽RACDAが事務局を受けて実行委員会形式で実施する事になった。開催まで3ヶ月と時間が無く、Zoom会議メンバーが分担し、事業者や国会議連の協力も頂き、国交省・宇都宮市・芳賀町の後援も受け、大成功のうちに実施できた。(年度明け1/27-28実施、懇親会107名、本会議150名) 討論テーマ・サミット宣言もすべてZoom会議で討論した。

路面電車まつりは7月に東山線が開業百年にあたるので、記念電車を運行し、東山会場のみ開催。大雨で屋外イベントは中止した。10月のJR・岡電の鉄道記念日イベントにも参加した。

収益事業であるピアガー電はコロナ収束を受けて10回実施したが、収益事業としては厳しい。広報宣伝不足、岡電の運転士不足など運行体制にも課題がある。会の運営にも重要な影響が出ている。

会員数は75名と1名減少。市議会などロビー担当の宗田理事の逝去は痛手だった。一方会員数には反映しないが、Zoom会議には新たに全国から20代30代が8名参加するなど、ネットワーク活動の戦力は増大した。次年度はラクダゼミなどの広報活動を拡大し、会員獲得をめざしたい。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出金額 (千円)
公共の交通を充実させるための、公共交通をツールとしたまちづくり、公共交通の拡充・活性化、自転車の有効利用の推進、公共の交通に関する調査、企画、調整、仲介等の諸事業	JR 吉備線 LRT 化推進事業	通年	JR 吉備線沿線を主とする岡山、総社市内	100名	JR 吉備線沿線住民を主とする岡山・総社市民など不特定多数	0
	路面電車環状化・岡山駅前広場乗入推進事業	通年	岡山市内	300名	岡山市民、路面電車利用者など不特定多数	402
	吉備線路面電車直通推進事業	通年	岡山市、JR 吉備線沿線	50名	JR 吉備線沿線住民、岡山市民など不特定多数	0
	バスマップ作成配布事業	通年	岡山市・倉敷市	20名	岡山・倉敷市民、バス利用者など不特定多数	0
	バス停アダプト事業（バス停留所環境整備）	通年	岡山県全域	2名	岡山県民全般など不特定多数	0
	バス活性化プラン作成事業	通年	RACDA 事務局を中心に岡山県全域	200名	岡山県民全般など不特定多数	9
	市民向け公共交通活性化・交通井戸端会	通年	岡山市を中心に岡山県全域	100名	岡山県民全般など不特定多数	49

	議  「路面電車の日」実施事業	6/10	岡山市内路面電車沿線	50名	岡山市民全般など不特定多数	293
	ワイン電車（車内でワイン等を提供する路面電車の運行）・ビアガー電（車内で生ビール等を提供する路面電車の運行）等実施事業	通年	岡山市内路面電車沿線	250名	岡山市民全般など不特定多数	763
	自転車有効利用推進事業（交通手段としての自転車の活性化、有効利用を推進する事業）	通年	岡山県全域	10名	岡山県民一般など不特定多数	0
	各地路面電車地方鉄道存続・電車等保存運動支援事業	週1	全国の該当地域	1250名	該当地域住民など不特定多数	237
地球温暖化防止に関する諸事業	岡山地区移動発生源温暖化ガス減ロードマップ立案作成事業	通年	RACDA事務局を主に岡山市内	10名	岡山県民全般など不特定多数	0